

研究計画書を書く目的

- 入学希望者がどのような研究を行いたいと考えているのかを説明する&理解する
- 上記研究テーマの背景となる問題意識を説明する&理解する
- 入学希望者のこれまでの実績や研究の経過を説明する&理解する(大学院において上記の研究を遂行する基本的な知識、スキルを有しているかどうかの確認)
- 入学希望者と本大学院との基本的なコミュニケーション・ツールとなる

研究計画書の内容(修士課程)

1. 研究テーマ
2. 研究の目的、志望理由 (200字程度)
3. 研究テーマ設定までの経緯とこれまでの研究活動 (500字程度)
4. 研究の具体的内容と進め方 (500字程度)
5. 研究の到達目標 (300字程度)

※A4判縦、片面のみ記入、余白は上下左右すべて20mm、1枚あたり40行、
11ポイント・黒色・明朝系のフォント、横書き

⇒Why、How、Whatを明確にする。

1. 研究テーマ

- 研究の題目（仮でも良い）
- 研究計画書で説明することの全体のタイトル
- 研究目的と合致しているか
- 研究目的、内容が読み手に明確に伝わるか
- 長くなりすぎないように（副題を付けても良い）

2. 研究の目的、志望理由

- 何を問題・課題として設定しているのか
（問題設定、リサーチ・クエッション）
- 本研究で何を明らかにしようとしているのか

What

- 研究すること、そのものが目的になっていないか

3. 研究テーマ設定までの経緯とこれまでの研究活動

- ・問題設定に至るまでの検討過程の説明
- ・研究の背景の説明(なぜこの研究をしなければならないのか)
 - ①社会的背景(→社会的意義)
 - ②学術的背景(→学術的意義)
- ・本研究に取り組むために行ってきた準備(先行研究レビューなど)

Why

4. 研究の具体的内容と進め方

- 研究の対象
- 研究の方法（複数でも良い）
- 研究のスケジュール（修士論文完成までの2年間の研究の進め方）
- これまでの準備内容との関係性
- 研究の目的と合致しているか

How

5. 研究の到達目標

- この研究から予想される成果
(何をどこまで明らかにできることを想定しているか、どのような結果が想定できるか)
- 本研究の特徴、独自性(社会、学術の両面においてどのような新しい貢献ができそうか)
- 研究結果が社会に与えるインパクト など

研究計画書の提出準備

- まず、書いてみる。
- 書き方がわからない、何を書けば良いのかいまひとつわからない、という場合は参考図書、関連サイトなどを参照する。
- 大学院の公開講座、科目等履修、オープンキャンパス等を活用し、研究の素材を探す。
- 教員との個別面談により具体的な相談を行う。
- 完成したら他者に読んでもらい、客観的な意見やアドバイスを得る。